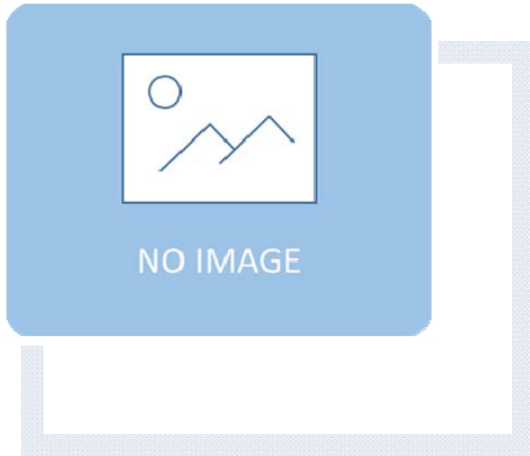




富士市間門の基盤整備候補地の打合会を 開催しました

富士



富士農林事務所では、昨年度より、茶生産者と大手ドリンクメーカーとの契約栽培に当たって、作業効率のよい茶園を確保するために、富士市間門において基盤整備計画を進めてきました。

その整備後のイメージ図が出来上がったため、7月19日（月）、当所において、基盤整備地の担い手となる生産者と、大手ドリンクメーカーの担当者を集め、その整備計画の概要説明

と、整備に係る要望の聞き取りを行いました。

今後、地権者の意向や換地との状況等により、要望が適えられない場合があることを理解してもらったうえで、大きな変更がある場合や節目には、打合会を開催して説明していくことを確認しました。

富士農林事務所企画経営課 0545-65-2193

所内工事安全講習会（第3回）を開催しました

中遠

中遠農林事務所では、建設工事における安全管理の啓発を進めるため、担当職員の適切な受注者への安全指導を行うことを目的とした「所内工事安全講習会」を6月から8月までの間に3回行いました。

第3回の講習会は、令和3年8月18日（水）午前で開催し、13名の担当職員が受講しました。

今回のテーマは「工事に伴う伐採作業の安全管理」です。

事務所の検査監が、伐採作業に伴う事故の発生事例の紹介や、作業前の準備や作業時の注意事項、そして伐倒の方法とかかり木の処理について講義を行いました。



中遠農林事務所検査課

0538-37-2266

JAとびあ浜松が浜松市東南部地区で 農地集積事業実施を決定！

西部



令和3年8月17日（火）、浜松市、JAとびあ浜松、農業振興公社及び西部農林事務所は、浜松市東南部地区（JAとびあ浜松南営農センター管轄）で、農地集積事業に係る打合せを実施しました。

打合せの結果、担い手（畑作）の要望により、関係機関で連携して東南部地区で農地集積事業を実施していくことになりました。

その後、組織の立上げ（南部地区農地利用調整協議会内）、地域内のルールの検討方針、スケジュールについて相談しました。

西部農林事務所では、引き続き、担い手の農地集積・集約を支援していきます。

西部農林事務所生産振興課 053-458-7212

浜北区で排水不良の農地の土壌調査を 実施しました！

西部

西部農林事務所管内ではキャベツやブロッコリー、レタスなどの露地野菜の生産拡大が進んでいます。

しかし、管内でも特に天竜川近くでは砂利を採取したほ場が多く、排水不良が問題となっています。

そこで令和3年8月26日（月）、浜松市浜北区のキャベツ栽培後のほ場において、JAとびあ浜松、農林技術研究所、西部農林事務所農地・普及担当が、排水対策のための土壌調査を行いました。

調査では、土壌を60cm掘った後に断面を確認しました。農地基盤整備事業を実施する際に、事前に土壌調査を実施して事業計画に反映することが出来れば、より一層排水対策や農地の円滑な利用を図ることができると考えられます。

引き続き、西部農林事務所は、JAとびあ浜松、農林技術研究所など関係機関とも連携しながら、砂利を採取したほ場の土壌調査を行い、事業に反映させながら産地の課題解決を図って参ります。

西部農林事務所生産振興課 053-458-7217

